

# 創立30周年記念

誰もが自分らしく生きられる未来のために



社会福祉法人 台東つばさ福祉会

住所 〒111-0036 東京都台東区松が谷 2-6-2

TEL 03-3842-2838 FAX 03-3842-6285

URL <https://taitoutubasafukushi-kai.com/>



社会福祉法人

台東つばさ福祉会

## ごあいさつ



## 「障害福祉」 サービスを専門的に

台東つばさ福祉会は平成6年の開設以来、  
障害福祉分野を専門に、多様な事業展開をしています。  
通所・入所・相談・就労の支援を提供しております。

援助を必要としている方々が、地域の中で豊かに  
安心して生活ができるよう支援しております。

## 基本理念

### 1 目的

社会福祉法人台東つばさ福祉会は、福祉サービスを必要とする人々が心身ともに健やかに育成され、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、地域において必要なサービスを総合的に提供されるように援助することを目的に、平成6年に設立されました。

### 2 法人理念

私たちは、支援・援助を必要としている方々が、地域の中で豊かに、安心して暮らせるよう支援します。

- 1、利用者本位のサービス提供
- 2、地域福祉の担い手としての社会への貢献
- 3、透明性のある法人運営の遂行

### 3 基本方針（運営方針・支援方針）

時代のニーズに的確に対応し、信頼される利用者本位の福祉サービスを以下のとおり実現していきます。

- 1、利用者一人ひとりの意思を尊重したサービスの提供
  - ・利用者本位のサービス
  - ・利用者の主体性・選択性の提供
- 2、地域での自立した生活が送れるための総合的サービスの提供
- 3、地域で必要とされるサービスの提供
- 4、サービス向上のための創造的、透明・健全な施設運営
  - ・優位性のあるサービス品質の確保と利用者満足の上昇
  - ・効率性の追求・経営基盤の確立
- 5、施設職員の誠実かつ責任ある業務遂行
  - ・利用者本位と選ばれるサービスを支える人材の育成と継続性の確保
- 6、行政及び福祉サービス事業所との連携による地域福祉の推進
  - ・利用者への総合的支援

# 創立30周年 お祝いの言葉

“台東つばさ福祉会は発足30年の節目を迎えることができました。”



社会福祉法人 台東つばさ福祉会  
理事長 内藤 由美

法人設立に際して台東区議会、区役所、担当課の皆様方には並々ならぬご尽力をいただきました。膨大な書類の作成、手続き上の問題など、分からないことだらけの私たちでしたが、台東区障害者福祉の中核を担うこの法人への大きな夢と期待を、皆さんと御一緒に描きながら準備を進めていた日々を懐かしく思います。

設立後も、設立母体となった手をつなぐ親の会と身障児者を守る父母の会は、設立理念が変わらずに継承され、運営されることを願って、毎月事務局会議を開催させていただいています。既に300回を超えるこの会議の存続こそ、つばさ福祉会の他社会福祉法人との大きな違いであり、地域や利用者、家族から信頼される基盤と言えます。身障授産施設、生活ホームの設置からスタートした事業は現在11事業所、児童から成人に拡大しております。私は4代目の理事長ですが諸先輩の想いをしっかりと受け継がせていただきます。今後とも、台東つばさ福祉会をよろしく願い申し上げます。

“社会福祉法人台東つばさ福祉会が創立30周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。”



台東区長 服部 征夫 様

平成6年度の創立以来、貴会におかれましては、つばさ福祉工房など様々な事業を実施され、障害者の日常生活の支援や自立を促進し、本区の障害福祉の向上に多大な貢献をされてきました。

これも内藤由美理事長をはじめ、歴代の役員並びに職員の皆様のご尽力の賜物と、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

昨年度、区では第7期台東区障害者福祉計画を改定いたしました。本計画を着実に実施するためには、貴会との連携が不可欠です。今後も、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立時から今日までご尽力を賜りました設立母体でもある台東区身障児者を守る父母の会と台東区手をつなぐ親の会の関係者の皆様に、深く敬意を表しますとともに、貴会の益々のご発展を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



台東区議会議長  
高森 喜美子 様

“台東つばさ福祉会が創立30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。”

台東つばさ福祉会は、創立以来、援助を必要としている方々が、地域の中で豊かに安心して暮らせるよう生活介護の提供や福祉ホームの設立、また、障害児の居場所づくり等のための放課後等デイサービスなど、障害者のニーズに応じたさまざまな福祉サービスを提供されています。近年、国においては、障害者差別解消法や障害者総合支援法をはじめとする関係法が改正され、本区においても第7期障害福祉計画を策定し、障害者への理解促進や差別解消の推進、情報アクセシビリティの向上などの施策に取り組んでいます。こうした施策を一層実効性あるものとするには、障害者の方々を支える地域の拠点である台東つばさ福祉会の役割はますます重要になっていくことと思います。今、障害者福祉はあらたな飛躍の時を迎えております。これからも障害者の方々の社会参加に向けて支援いただくとともに、地域社会においては理解と共生が一層進むよう、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、台東つばさ福祉会の益々のご発展と、関係者皆様のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



台東区身障児者を守る父母の会  
会長 勝呂 みゆき 様

“このたび、社会福祉法人台東つばさ福祉会が創立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。”

30数年前、「手をつなぐ親の会」と「身障児者を守る父母の会」は通所支援を必要としていました。その状況を行政と連携しながら、身体障害者通所授産施設「つばさ福祉工房」が開設されたと聞いています。その後、時代のニーズの対応などで、多岐にわたる事業運営になりましたが、その間も設立母体として両団体は事務局会議に出席しています。そこは運営報告や、親の想いや願いなどをしっかりと伝えることができる場であり、運営に反映されることを願っての参加です。これからも台東区の福祉向上、発展にご尽力頂きますようお願いいたします。



台東区手をつなぐ親の会  
会長 蓼沼 康夫 様

“「台東つばさ福祉会」創立30周年、心よりお祝いを申し上げます。”

法人を設立するにあたって、強く願いをもったものとして、喜ばしいところです。台東区に於いて、障害福祉の軸となる法人を望んで、「つばさ福祉工房」をスタートに法人が開始になりました。30年の間に、グループホームや就労支援等の障害福祉の中で必要とされる事業を展開してこられました。親の会は、設立当初から、「台東区身障児者を守る会」と共に、事務局として関わらせていただいております。今後も、台東区の障害福祉の充実と向上のために、つばさ福祉会のご尽力があることをお願いし、今後の発展をお祈り申し上げます。



社会福祉法人 台東つばさ福祉会  
事務局長(常務理事)  
石野 壽一

“皆様からのお祝いの言葉、ありがとうございます。”

台東つばさ福祉会は平成6年の発足から30周年を迎え、事業所も11か所、職員も80人を超えるまでになりました。これも設立母体の身障児者を守る父母の会と手をつなぐ親の会をはじめ、台東区役所、台東区議会、医師会や町会等の各種団体、運営に携わっていただいたすべての皆様のご支援・ご協力によるものと考えております。この場を借り、ご尽力に深く感謝申し上げます。

これからも職員一同、援助を必要とする方々が地域の中で豊かに安心して暮らすために、利用者本位のサービスを提供し、地域福祉の担い手として貢献できるよう務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 台東つばさ福祉会の あゆみ

**1994** 平成 6 年

- 4 月 社会福祉法人台東つばさ福祉会設立
- 6 月 身体障害者通所授産施設「つばさ福祉工房」開設  
身体障害者生活ホーム「フロム千束」開設



**1995** 平成 7 年

- 4 月 知的障害者生活寮「元浅寮」  
台東区手をつなぐ親の会より運営移管

**1996** 平成 8 年

- 4 月 知的障害者生活寮「松葉寮」  
台東区手をつなぐ親の会より運営移管

**2011** 平成 23 年

- 4 月 就労移行支援事業所「つばさワークアシスト」開設、  
フロム千束 11 床へ増床（入居・自立生活体験事業）

**2013** 平成 25 年

- 10 月 指定計画相談支援・指定障害児相談支援  
「つばさ相談支援センター」開設

**2014** 平成 26 年

- 4 月 台東区障害児放課後対策事業  
「つばさ放課後クラブ」  
法内化へ移行



**1999** 平成 11 年

- 12 月  
つばさ福祉工房  
天皇后両陛下 ご訪問



**2001** 平成 13 年

- 6 月 知的障害者生活寮・短期入所事業「たいとう寮」開設

**2004** 平成 16 年

- 4 月 障害者就労支援事業「台東区障害者就労支援室」  
台東区より受託  
知的障害者生活寮「いずみ寮」台東区手をつなぐ  
親の会より運営移管  
知的障害者生活寮「千草寮」台東区手をつなぐ  
親の会より運営移管

**2015** 平成 27 年

- 11 月 つばさワークアシストを  
廃止し、就労移行・就労  
継続支援 B 型の多機能  
事業所として「すてっぷ  
つばさ」を新設



**2018** 平成 30 年

- 2 月 松葉寮、浅草橋寮を統合し、  
8 月 「すてっぷつばさ」就労定

新たに「グループホームまつば」開設  
着支援事業実施。

**2019** 令和元年

- 10 月 作業所等ネットワーク  
事業。大量受注作業所  
兼集積地を整備。  
運用開始



**2005** 平成 17 年

- 9 月 共同生活介護（ケアホーム）  
「みすじ寮」開設

**2006** 平成 18 年

- 4 月 障害者自立支援法施行に伴い  
「つばさ福祉工房」を除く  
各事業所が新体系へ移行



**2008** 平成 20 年

- 4 月 共同生活介護（ケアホーム）「浅草橋寮」開設  
作業所等経営ネットワーク支援事業 受託

**2009** 平成 21 年

- 7 月 台東区障害児放課後対策事業  
「つばさ放課後クラブ」台東区より受託

**2010** 平成 22 年

- 4 月 つばさ福祉工房 新体系「生活介護」へ移行



**2022** 令和 4 年

- 3 月 元浅寮、みすじ寮を統合し、新たに「グループホームりゅうせん」開設  
6 月 生活介護「生活介護りゅうせん」開設

**2024** 令和 6 年

- 4 月 千草寮・いずみ寮を統合し、  
新たに「グループホームもとあさ」開設  
設立 30 周年



# 台東つばさ福祉会のいま

## 普段の活動の様子



## 利用者本位の支援

障害支援において、利用者本位の考え方は近年ますます重要になっています。支援者が一方的にサービスを提供するのではなく、利用される方の意思と希望を尊重し、利用できるサービスや支援について分かりやすく説明し、自ら選択できる環境づくりを心がけます。その中で、利用者ご本人が自分で判断し、決定できるように支援します。台東つばさ福祉会では、ご本人、ご家族、関係者、関係機関と協力して、利用者本位のサービス提供をしております。

## 地域福祉の推進・社会への貢献

地域福祉の推薦は、単に福祉サービスの利用者のみならず、地域全体に多くのメリットをもたらすことから、様々な主体が協働することが重要と考えます。そして、みんなが地域社会の一員として活躍し、安心して地域で生活することは、地域活性化につながり、多様性を尊重する社会の実現に近づくことになると考えます。

台東つばさ福祉会では、一人ひとり地域福祉に感心を持ち、できることから取り組むことで、みんなが安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。



## 透明性のある法人運営

運営における透明性の重要性がますます高まっています。これは法人が社会から広く支持を得るために必要不可欠な要素と認識されているからで、これにより、信頼性を高め、持続的な成長を実現するために重要と考えるからです。

台東つばさ福祉会では、決算書や事業報告をホームページで公開し、理事会や評議員会開催をはじめ、法人監事による監査ばかりでなく、台東区の監査委員による監査などコーポレートガバナンスを整備しています。透明性のある法人運営は、長期的な成長を支える基盤となります。関係機関との信頼関係を築き、健全な経営を続けるために、これらも重要な課題として取り組んでまいります。

## つばさの現役職員たちの声



設永 孝明 施設長 (理事)

### 「つばさと共に豊かな人生を」

「つばさ」が発足して30年。様々な方に支えられ、法人としても個人としても成長させていただいたことに感謝の日々です。平成6年につばさ福祉工房とフロム千束の2事業所で始まった事業も、「障害を持つ方の地域生活を支援する」ことを目的に拡大してきました。フロム千束、たいとう寮、グループホームまつば等の開設に携わらせていただいたことは、貴重な経験として財産となっています。沢山の出会いを思い出すとともに、その生活を継続していくことの重要性をひしひしと感じています。地域の皆さんのご協力を得ながら、皆さんが豊かな人生を感じる事が出来るよう努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。



### 「台東つばさ福祉会で 長年働いてきて思うこと」

生活施設主任

早坂 卓真

入社して何年経つのかを振り返ってみると、本当にいろいろな事があり、様々な体験をしてきました。正直な所、大変なことが多かった印象ですが、その中で、台東つばさ福祉会で働いている職員に何度も助けられたことで、チームワークの大切さを学びました。今でもその恩は忘れていないので、今後、私がみんなを助けられるような職員になりたいと思っています。まだまだ30年。これからも台東つばさ福祉会の発展を目指して、チームを大切に励むと共に、自分自身の成長も目指していきたいと思えます。台東つばさ福祉会30周年おめでとうございます。



### 「「つばさ」とともに歩んだ 社会人生活」

生活施設副主任

根岸 洋子

私は、たいとう寮が開設された平成13年に入職しました。新しい施設の開設に伴い、法人設立以来、初めて一度にたくさんの新任職員が採用になった年で、区の保養施設での宿泊研修なども催して頂き、社会人として楽しくスタートを切ることができました。それ以来、私の社会人生活はずっと台東つばさ福祉会とともにあり、社会人としてゼロから育てて頂いたと感じています。入職当時と比べて法人の運営する施設もかなり増え、法人の地域で果たす役割も年々大きくなっています。今後は、親孝行をするような気持ちで台東つばさ福祉会の運営に貢献し、盛り上げていけたらと思います。



### 「台東つばさ福祉会 30周年をうけて」

通所施設支援員

蒲功 二郎

台東つばさ福祉会30周年誠にありがとうございます。私はまだ入職して3年目であり、台東つばさ福祉会との関わりはまだ浅いのですか、今回このような節目の年に携わる事ができ光栄に思います。私がいまここで働くことが出来ているのも、「30年」と、積み重ねられた長い歴史の中で、様々な方々が築き上げて下さったからだ強く感じました。今後はより一層気を引き締め、業務に励んでいければと思います。そして40周年、50周年とさらに歴史を刻んでいけるよう、微力ながら少しでもお力添えが出来るよう日々努力していければと思います。



### 「出逢い」

生活施設支援員

湯浅 優芽

この度は、台東つばさ福祉会の創立30周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。私が入社致したのは令和5年4月からですので、今年で2年目になります。最初は慣れない事ばかりで不安しかありませんでしたが、台東つばさ福祉会の職員方の優しさや利用者の皆様の明るさ等に救われ、今は毎日充実しています。辛いと思うことももちろんありますが、社会人1年目の職場として台東つばさ福祉会と出会えたことは本当に良かったと心から思います。末筆ながら、台東つばさ福祉会の一層のご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 台東つばさ福祉会の未来



## 「誰もが尊厳をもって生きる 未来のために」

誰もが自分らしく、尊厳をもって生きることができる社会は、  
私たちが目指す未来の姿です。その実現には、多様性を尊重し、  
支え合う福祉の視点が重要な役割を果たします。

### 多様性を尊重する社会

誰もがいきやすい未来を実現するためには、多様性を尊重する社会を作ることが重要です。障害、年齢、性別、国籍など  
様々な違いを認め合い、互いを尊重する社会が必要です。

### 支え合える社会

誰もが尊厳をもって生きる未来を実現するためには、互いに支え合える社会を作ることが重要です。必要な人に手を差し  
伸べ、助け合うことができる社会が必要です。

多様性を尊重し、支え合う社会の実現に向けて、私たち一人ひとりが福祉の視点を持ち、次の役割を果たすため行動して  
いきます。

- ・必要な支援を提供する：障害のある方、高齢者、その他の社会的に支援が必要な人々に対して、必要な支援を提供し  
ます。
- ・社会全体の理解を促進する：障害のある方などに対する理解を促進します。
- ・地域での支え合いを支援する：様々な主体が地域の中で互いに支え合い、助け合うことができる環境を整えます。



障害福祉の実践を台東区で、地域とともに

**地域生活をよりゆたかに**